

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)

1. 建物概要

建物名称	かえつ福祉会 特別養護老人ホーム	
建設地	秋葉区 東金沢字大野中1459番5	
用途地域	第一種住居地域	
建物用途	特別養護老人ホーム	
竣工年	2013年7月 予定	
敷地面積	3,582.70 m ²	
建築面積	1,770.97 m ²	
延床面積	5,163.12 m ²	
階数	地上4F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2012年9月26日	

2. CASBEE新潟の評価結果

 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{62}{36} = 1.7$
---	---	--

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.7		バリアフリー	3.0
			維持管理	5.0
			更新性	3.1
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	3.0
			信頼性	3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	4.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.5		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	4.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	4.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	5.0

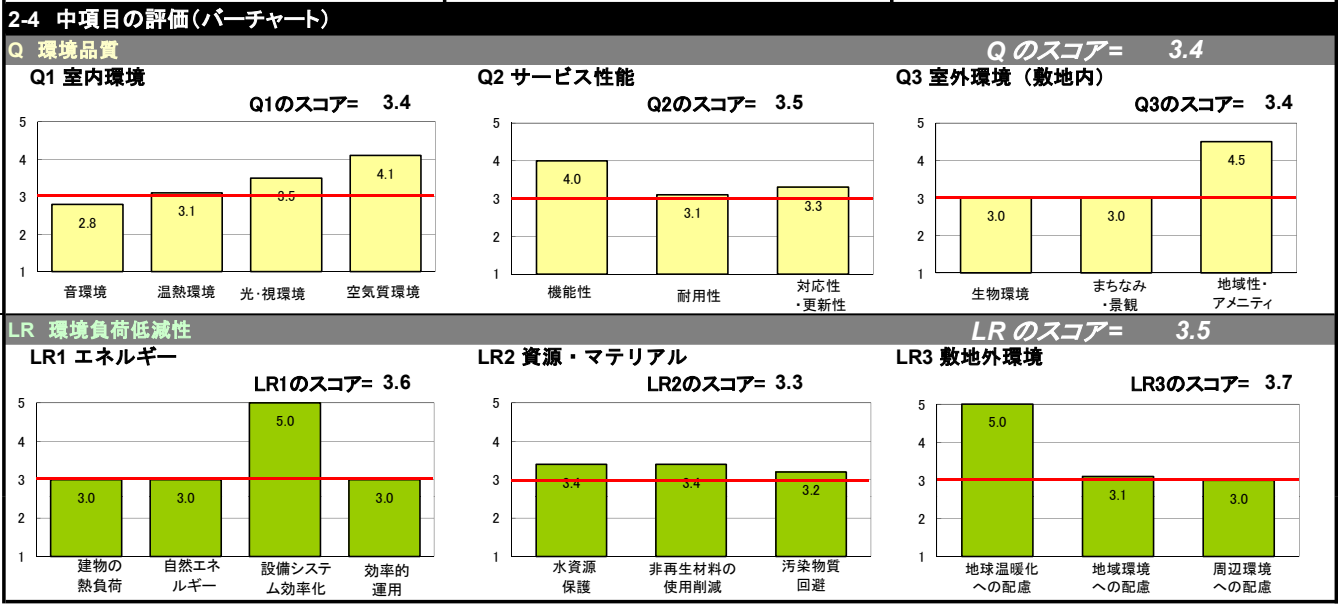
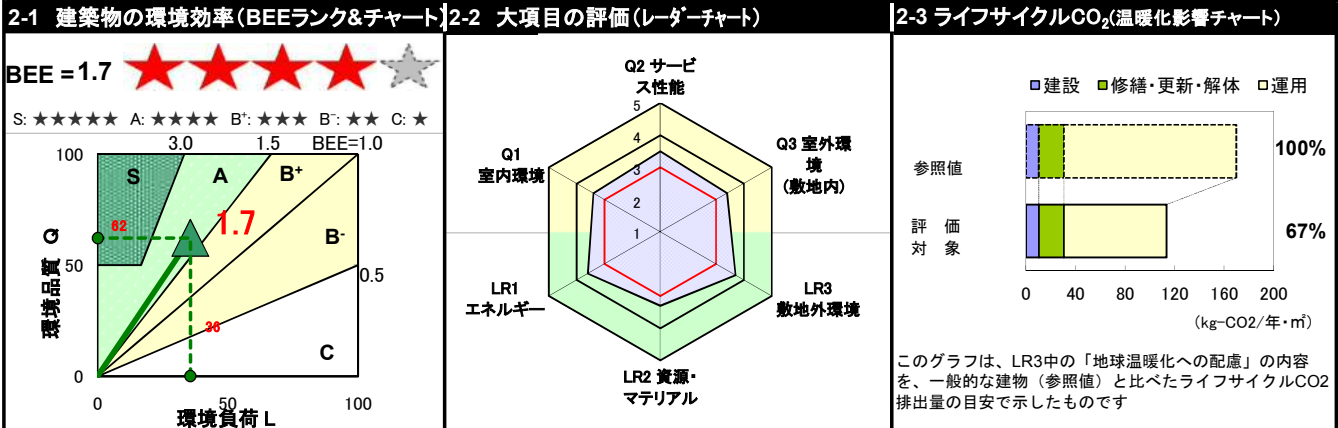
4. 新潟市の重点項目の配慮事項

長寿命化: 仕上材の適材適所の採用、将来の設備更新等に配慮した1階床下のオールビット化。
 限られた敷地での積極的な緑化。
 隣接する下越病院と一体となる施設計画を行っています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳 |

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.3)



2-5 設計上の配慮事項

総合	その他	
特別養護老人ホームは、いかにして家庭的な雰囲気を作ることができるかが大切である。大規模建築物に求められる環境配慮を積極的に行いながらも、今まで生活してきた家庭的な雰囲気を感じられる施設づくりを心掛けた。		
Q1 室内環境 入所者の個室は遮音性能を高めた計画を行っている。又、開放可能な建具により、通風・換気を確保している。冷暖房は各室個別制御とし、部屋に合わせた負荷での運転が可能である。	Q2 サービス性能 特別養護老人ホームの特異性を考慮し、適材適所で維持管理に配慮した仕上げ材を採用している。計画の段階から仕上げ、サイン、家具が統一のコンセプトによって計画を行っている。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地は造成地であることから、建設後の積極的な緑化に努めた。隣接する下越病院と調和する外観デザイン・色彩計画を行っている。
LR1 エネルギー 建物の断熱化、複層ガラス・LOE-Eガラスを採用している。又、太陽光発電、蓄電池システムを計画している。	LR2 資源・マテリアル 内部間仕切りは全て乾式化とし、配管・配線の更新が容易な計画としている。	LR3 敷地外環境 隣接する下越病院と合わせた構内道路・職員駐車場計画を行っている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される